

みずほCustomer Desk Report 2019/06/28 号(As of 2019/06/27)

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	107.72
TKY 9:00AM	107.75	1.1375	122.55	1.2693	0.6986		
SYD-NY High	108.16	1.1381	122.88	1.2725	0.7009		
SYD-NY Low	107.64	1.1348	122.42	1.2663	0.6984		
NY 5:00 PM	107.77	1.1369	122.52	1.2670	0.7009		
NY DOW	26,526.58	▲ 10.24	日本2年債	-0.2100	1.00bp		
NASDAQ	7,967.76	57.79	日本10年債	-0.1400	1.00bp		
S&P	2,924.92	11.14	米国2年債	1.7459	▲ 2.81bp		
日経平均	21,338.17	251.58	米国5年債	1.7689	▲ 2.88bp		
TOPIX	1,553.27	18.93	米国10年債	2.0132	▲ 3.62bp		
シカゴ日経先物	21,220	105	独10年債	-0.3215	▲ 1.75bp		
ロンドンFT	7,402.33	▲ 14.06	英10年債	0.8215	▲ 0.75bp		
DAX	12,271.03	25.71	豪10年債	1.3535	6.90bp		
ハンセン指数	28,621.42	399.44	USDJPY 1M Vol	6.50	0.09%		
上海総合	2,996.79	20.51	USDJPY 3M Vol	6.60	▲ 0.05%		
NY金	1,412.00	▲ 3.40	USDJPY 6M Vol	6.73	▲ 0.05%		
WTI	59.43	0.05	USDJPY 1M 25RR	-1.15	Yen Call Over		
CRB指数	182.48	0.11	EURJPY 3M Vol	6.84	0.00%		
ドルインデックス	96.23	0.01	EURJPY 6M Vol	7.08	▲ 0.15%		

東京	東京市場のドル円は、107.75レベルでオープン。朝方は海外金利の上昇を背景に、ドル円はじりじりと上昇。国内株式の上昇もサポートとなった。昼過ぎには香港の経済紙が「G20に先立ち、米中が貿易戦争の暫定的な停戦で合意」と伝えると、ドル円は節目の108円ちょうどを突破し、一時108.14をつける展開。そのまま同レベルを維持し、108.09レベルで欧州時間へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.09レベルでオープン。程なく週高値の108.16円まで上昇するが、その後は伸び悩み。期末FOMCも静かな一方でG20を控えて動意薄の中、米長期金利が下がるのに付けてやや売られ107.78円まで下落し107.85レベルでNYに渡った。ポンド円は、1.2681でオープン。特に材料がない中、立ち上がり1.2669まで下落。しかし、ドルがやや値を下げるのに合わせ切り返すと1.2725まで買われる。その後は1.27を挟んでもみ合い1.2705でNYに渡った。(ロンドンドルフリ 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、108円台を回復。一時108.16まで上昇するが、米10年債利回りが上げ渋ると、売りに押され、107.78まで反落し、107.85レベルでNYオーブン。朝方発表の米1-3月期のGDP(確定値)は予想通り、個人消費は予想を下回り、JPCEは予想を上回り、強弱入り混じった結果にドル円の反応は限定的だった。一時107.94まで上昇する場面もあったが、米金利がじりじりと低下すると徐々に上値が重くなり、107.67まで下落。今週末にG20サミットを控え、様子見ムードが強まる中、107.70近辺で小動きとなり、107.77レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロ円は、米中貿易摩擦の懸念後退を背景にユーロ買いが強まる中、1.1348まで下落。しかし、200日移動平均線(1.1344)が控えるこの水準では下げ止まり、その後、ドイツの地域別6月CPIが前回比で上昇したことが好感され、ユーロが買い戻され1.1381まで上昇。その後、小幅反落し、1.1376でNYオーブン。朝方は独6月CPI(EU基準、速報値)が市場の予想通りとなり、海外時間発表の地域別CPIの結果を受けた進んだユーロの買いが巻き戻され、1.1357まで下落。売り一巡後、手掛かり材料が乏しい中、1.1370近辺で小動きとなり、1.1369でクローズ。

当資料は情報提供のみをして作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小笠原・原田

[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
6月27日	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	6月 0.3%/1.6%	0.2%/1.4%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	1Q T 3.1%	3.2%
	21:30	米 個人消費	1Q T 0.9%	1.3%
	21:30	米 JPCE(前期比)	1Q T 1.2%	1.0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 227k	220k
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	5月 1.1%	1.0%

市場営業部 為替営業第二チーム

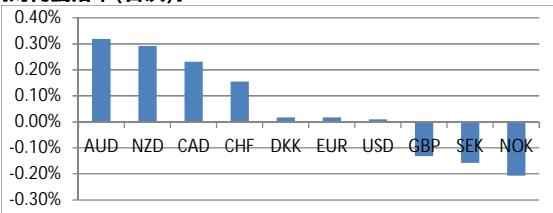
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
6月28日	08:30	日 失業率	5月 2.4%	2.4%
	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	6月 1.0%/0.9%/0.7%	1.1%/1.1%/0.8%
	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	5月 0.7%/-2.9%	0.6%/-1.1%
	21:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	5月 0.3%/0.5%	0.5%/0.3%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	5月 0.2%/1.5%	0.3%/1.5%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	6月 97.9	97.9
6月30日	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	6月 49.5/54.2	49.4/54.3

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.40-108.40	1.1320-1.1420	122.00-123.00

[マーケット・インプレッション]

昨日のドル円は行って来いの展開となった。「米国と中国が貿易戦争の一時休戦で合意」とのヘッドラインが伝わったことから米中通商問題懸念が後退し、ドル買いが進行、108.16をつけた。その後、米中両国から合意に対して否定的発言が相次ぎ、米長期金利が低下し、ドル円も少しずつ下落推移。終盤はG20サミットを控え様子見ムードが強まり、107.70台で揉み合う展開となり、107.77で取引を終えた。本日のドル円は揉み合う展開となりそうだ。月末、四半期末ということもあり実需のフローが相応に見込まれるが、一方で29日に開かれる米中首脳会談は、中国が休戦条件の1つとして華為技術に対する米国技術売却禁止を米が撤回することを求めていると報道されており、米中貿易戦争が長引く懸念が再浮上している。G20、米中首脳会談を控えてドル円は様子見ムードが強まり、方向感無い推移になるものと予測する。